



▲午後の部(左から塩畑副会長、山本会長、星野市長、平井会長、小倉会長)

助]に、どのようにまち協が関わるのか。助け合いの仕組みやつながりをつくることよりも、自然にできた地域のコミュニティーをどのように育てるかを軸に活動したいです。

**木野さん** コミュニティーづくりは顔と顔を合わせるが一番大事だと思います。私は近隣センターこもれびの最初の管理人で、当時は窓口で

話しながら施設予約を受けていました。さまざまな方と出会い、その後会った時にはあいさつができるようになり、一番のコミュニティーづくりになりました。人間、アナログです。デジタルだけに頼ってはコミュニティーづくりは難しいと思います。

**星野市長** 中学生には「オンラインでの会話やインターネットでは、知り合いは増えるけれど親友はできません。基本は顔と顔を見ながら話して、自分が間違えていると思ったらすぐ謝ることが大事」と伝えています。利用者のニーズや時代に応じて、近隣センターの使い方、まち協の在り方も変わっていくと思います。

**松島さん** 近隣センターふさの風は旧岡田武松邸の跡地に建っていますが、岡田博士が自宅に児童文庫を開設して地域の人たちが集まったように、近隣センターを使って活力あふれる地域にし、憩いの場にしたいです。長生きのための元気づくりや、毎年、人が集まるような事業を展開することが使命だと思います。

**小倉さん** 近隣センターへ来れば誰かと会って話ができる、地域のたまり場だと思います。また、今後は地域の文化センター・情報センターの役割も果たさなければいけないと思います。

**塩畑さん** 人と人がつながる場として大事だと思います。自宅の近くに高齢の方が越してきて、友達もいないし出掛けることもないと言っていました。近隣センターではさまざまな集まりがあるので来てほしいと思っています。若い世代の方にも参加していただき、大事な場所をつないでほしいです。

**平井さん** 今までは近隣センターを中心としたコミュニティーづくりでした。今後は地域活性化のためにも地域に向く必要があると思います。現在、我孫子駅北口ロータリーの花壇づくりを考えています。駅を降りると花があり、きれいな街並みがあれば人が集まる。この企画に若い方や企業・大学など多くの方が関われば、まち協を知る機会になり、担い手づくりにもつながります。魅力あるまちづくりのためにも実現したいです。



▲現在の我孫子駅北口ロータリー

**山本さん** 「地域の方と仲良く暮らしたい」「近隣センターに行けば誰かがいて助けてくれる」など、いろいろなことで人の輪ができる場をつくらうと思っています。「地域の方がまち協に求めるものは何か」が大事だと思うので、機会があれば地域の方から直接聞きたいです。街で人と会ったときに気軽にあいさつできる地域が良いと思います。

### 皆さんにとって『まちづくり協議会』とは

**松島さん** 布佐のまちの元気の源です。

**木野さん** 皆さんと交流を深め、意気投合して、楽しいまちづくりを進める場です。

**藤原さん** コミュニティーづくりの基本となる「住民同士のつながりをどうつくり、育てるか」を考える場です。

**高橋さん** 困難もありますが、皆さんから明るく「ありがとう」と言ってもらえる、やりがいのある活動です。

**松田さん** まち協とは、地域そのものに馴染める環境であり、地域住民間の懸け橋にもなれる場所です。

**小倉さん** 人との出会いの場です。自分ない経験や発想を持った方と出会

えて、学べます。生涯学習の場にもなります。

**塩畑さん** まち協を通して人と出会い、地域のコミュニティーづくりと一緒にすることで、まち協が生活の場になりました。

**平井さん** 住みやすく安全・安心な街にするために貢献したい。きれいな思い出になるまちづくりをしたい。

自分1人ではできないので、地域の皆さんの協力を得ながら良い街をつくっていくための場です。

**山本さん** 約20人のメンバーが地域活性化のために活動しています。小さな村の野球チームのようなものだと思います。

**星野市長** 新型コロナウイルス感染症の影響で自粛生活が続き、改めて、まち協がつくる地域のつながりの大切さを感じています。自治会・町内会や社会福祉協議会、まちづくり協議会は、それぞれ大きさや活動目的、活動範囲が異なります。11年前の東日本大震災の時、甚大な被害を受けた布佐の都地区では、社会福祉協議会のほか、被災しなかった自治会が炊き出しに参加し、「共助」がしっかりと機能しました。

さまざまな団体や地域に暮らす方のつながりをつくれるのは、まち協であり、近隣センターという場です。世代によって考え方も異なり、時代も変わります。コミュニティーづくりをする上で、変えてはいけないことや変えなければならないことを切り分けながら、まち協や近隣センターの在り方を考えていく必要があると思います。

これからも地域の歴史や伝統文化を大切に、若い世代など、地域に暮らす多くの皆さんにも携わってもらいながら、地域の要として、我孫子市を元気にしてほしいと思います。市としてもしっかりと活動を支援していきます。



▲座談会前に日立アカデミー我孫子キャンパスの庭園を散策

### 都合により座談会には副会長が出席しました

#### 天王台北地区まちづくり協議会 橋爪史彦会長からのコメント

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地域活動が制約を受けてきました。そのような状況の中、まちづくり協議会は、感染対策に工夫を加えながら各種イベントや近隣センターの運営を行い、地域のコミュニティーづくりのために活動しています。

今後も皆さんに近隣センターを安心して利用していただけるよう努めていきたいと思っていますので、ぜひ気軽にお越しください！



#### 株式会社日立アカデミー我孫子キャンパス

座談会は、(株)日立アカデミー我孫子キャンパスにご協力いただき、実施しました。

(株)日立アカデミー我孫子キャンパスの庭園は、日立グループの他の5事業所とともに「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に選ばれています。14,000坪の敷地には、研修施設の他に巨大なヒマラヤスギを中心とした記念樹庭園、旧別館側の自然を生かした庭園、湧水の池、展望台などがあります。

毎年11月下旬～12月初旬には、(株)日立アカデミーのご厚意のもと、我孫子の景観を育てる会により紅葉と手賀沼の眺めを楽しめる庭園公開を開催しています。

